



第5回 SSIシンポジウム

私たちの創る
「誰一人取り残さない」未来の社会

プログラム I : 「私たちが取り組むSDGs ー日本から世界へー」

2023.3.18 Sat. 16:00-19:00

SDGsがめざす「誰一人取り残さない」社会。また、すべての人びとの生(生命・生活・人生)が生き生きとWell-beingであるような社会。そうした未来社会を構想し、これから構築していくためには、未来の社会を実際に担う「当事者」であるこどもたちがその構想・構築の過程に参加していることが根本的にかつ極めて重要です。

シンポジウムでは、2023年にG7(7か国の政府代表の会議)、G-Science学術会議(7か国の学界代表の会議)が日本で開催されるのを機に、日本の高校生・中学生が、自分たちが実践している/構想しているSDGsの試みを世界に向けて発表し、よりよい未来の社会を構想・構築するために現行の社会問題にどう取り組めばよいかを海外の高校生と議論します。

- 取組発表者: 熊本県立水俣高等学校、盈進中学高等学校、大阪府立堺工科大学(定時制の課程)、大阪府立福井高等学校、東京都立川学園、開智未来中学高等学校、群馬県立前橋東高等学校、福島県相馬市立中村第二中学校、大阪府東大阪市立上小阪中学校
- コメンテーター: 伊藤武志氏(大阪大学SSI)、田熊美保氏(OECD教育スキル局)、浜田博文氏(日本学術会議 排除・包摂と教育分科会、筑波大学)、日下高德氏(UNESCO教育局EDS課)

関連プログラム

3/21 Tue

プログラム II : 「私たちが創りたい未来の社会 ー大人たちに提言ー」

3月21日(火)午後には、G-Science学術会議共同声明のテーマと関連して、A: 気候変動とその危機への対応(環境問題・環境教育)、B: 健康(特に高齢者)(健康とWell-being)、C: 海洋と生物多様性(環境問題・環境教育)のテーマでワークショップを実施します。ワークショップは英語で実施され、大阪、広島、埼玉、東京、海外の高校生が参加します。リアルタイムの一般公開はありませんが、概要は各種報告書とプレスにて発表します。

オンライン
開催

文 A

日英同時通訳
手話通訳あり

◎参加費: 無料
◎定員: 500名

参加申込は
こちらから



or

クリック

https://zoom.us/webinar/register/WN_wD5nwVa4TyiS8P5M_0j-ZA